

第40次宇都宮市住居表示等審議会（第1回）次第

日時 令和2年7月30日 午前10時

会場 宇都宮市役所14階 14大会議室

1 開 会

2 議事

- (1) 会長及び副会長（2名）の選任について
- (2) 市長からの諮問
- (3) 諮問事項について
- (4) 今後のスケジュール

3 その他

4 閉 会

第40次宇都宮市住居表示等審議会委員等名簿

1 委員 (宇都宮市住居表示等審議会規則第2条)

委員種別	役職等	氏名
第1項 1号委員 関係行政機関職員	宇都宮地方法務局 首席登記官 宇都宮中央警察署 生活安全課長 日本郵便株式会社 宇都宮中央郵便局 第1集配営業部 部長	杉山 豊 仲田 正和 豊田 豊
第1項 2号委員 学識経験者	栃木県行政書士会 宇都宮支部長 栃木県立博物館 学芸部長補佐兼人文課長 宇都宮伝統文化連絡協議会 顧問 宇都宮商工会議所 監事 宇都宮市女性団体連絡協議会 副会長	安野 光宣 篠崎 茂雄 池田 貞夫 柿沼 賢 木村 由美子
第1項 3号委員 公募委員		滝田 政男 外鯨 泰子
第2項 委員 臨時委員	富屋地区連合自治会長	舘野 常利

2 幹事 (宇都宮市住居表示等審議会規則第6条第1項)

	富屋地区市民センター所長	坂本 智美
3 事務局	市民まちづくり部長	小関 裕之
	市民まちづくり部次長	坂本 忠夫
	市民まちづくり部副参事	會澤 和貴
	市民まちづくり部副参事	神谷 良範
	市民まちづくり部市民課長	田代 京子
	市民まちづくり部市民課長補佐	小林 尚志
	市民まちづくり部市民課企画グループ係長	野澤 智子
	市民まちづくり部市民課企画グループ総括	清水 是博
	市民まちづくり部市民課企画グループ主任主事	田崎 悟

宮市第1112号
令和2年7月30日

第40次宇都宮市住居表示等審議会
会長 篠崎茂雄様

宇都宮市長 佐藤 栄



町の名称の変更について（諮問）

宇都宮市附属機関に関する条例第2条の規定に基づき、下記のとおり諮問します。

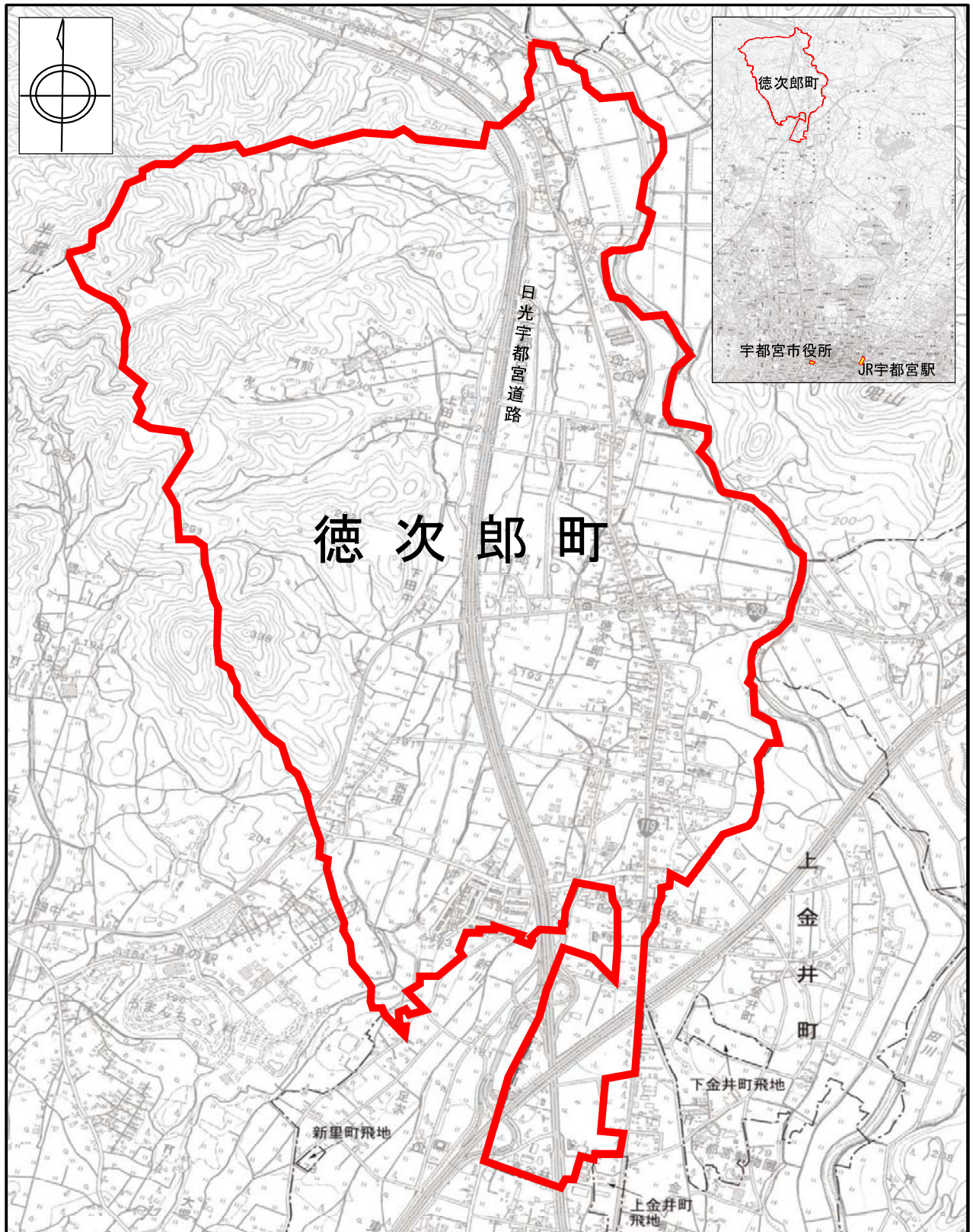
記

- 1 地方自治法（昭和22年法律第67号）第260条第1項の規定に基づき、徳次郎町の名称を次のとおり変更すること。

変更前 徳次郎町（とくじろうまち）

変更後 徳次郎町（とくじらまち）

位置図



徳次郎町の名称（読み方）変更について

1 徳次郎町について

(1) 概要 **別紙1**

(2) 昭和29年 宇都宮市と河内郡富屋村との合併までの経過 **別紙2**

2 町名変更の要望について

(1) 要望書の提出

ア 提出日 令和2年4月21日

イ 要望自治会 富屋地区連合自治会及び徳次郎町を住所とする下記の7自治会
 ≪自治会名≫ 徳次郎上町自治会, 徳次郎中町自治会, 徳次郎下町自治会
 徳次郎門前自治会, 徳次郎田中自治会, 徳次郎西根自治会
 山王団地自治会

ウ 要望書 **別紙3**

エ 添付資料

各自治会の総会等において、徳次郎町の読み方変更の要望書を提出することについて決議した議事録の写し及び周知のため掲示・回覧したチラシ等

(2) 要望の趣旨

- ・ 徳次郎町は、昭和29年の宇都宮市と旧富屋村の合併により、公的には「とくじろうまち」という読み方になっているが、古くからこの地域は「とくじら」と呼ばれており、地元では「とくじら」という読み方に強い愛着をもっている。
- ・ 徳次郎町に関係する7つの自治会及び富屋地区の総意として、徳次郎町の読み方を「とくじらまち」へ変更してほしい。

≪要望書提出までの経過≫

年 月 等	経 過
令和元年11月	富屋地区の住民から市へ「徳次郎町」の読み方変更の相談
令和2年2月26日	富屋地区主催の「徳次郎町」名称変更に係る説明会開催 ⇒町名変更に係る手続きについて 別紙4
令和2年3月15日 ～4月11日	徳次郎町に関係する自治会、富屋地区連合自治会の総会開催 ⇒「とくじらまち」へ変更する要望書を提出することを可決
令和2年4月13日 ～20日	要望書提出について、富屋地区市民センター内に掲示（1週間） ⇒地区内において、反対意見なし
令和2年4月21日	「とくじらまち」へ変更する要望書提出 ⇒第40次住居表示等審議会において審議する

3 町の名称の定め方 (「宇都宮市住居表示整備実施基準」抜粋)

宇都宮市において、町の区域の合理化のため、新しく町を設け、又は名称を変更する場合、その町の名称は次のとおり定めることとしている。

- (1) 従来の町の名称又は当該地域における歴史、伝統、文化の上で由緒ある名称で、親しみ深く語調のよいものを選択する。
- (2) 常用漢字を用いる等、読みやすく、かつ簡明なものとする。

4 調査結果

(1) 徳次郎町の地名の起源・由来 別紙5

ア 「角川日本地名大辞典」昭和59年発行 ほか

地名の由来は、日光に勢力を持っていた久次良氏の一族が、奈良時代末期に日光山神社（日光二荒山神社）から御神体を千勝の森（現智賀都神社）に勧請して日光の宗家久次良氏に対して外久次良氏を称したことによるといわれる。

イ 資料に見える地名

時 代		地 名 等
中世	南北朝時代	得志良，外俱示良
	戦国時代	得次郎，徳次郎原合戦
近世	安土桃山時代	「徳次郎城主 新田徳次郎」，「徳治良 新田徳次郎」
	江戸期～明治22年	徳次郎村，徳次郎宿（宿場町），徳次良宿(行政村)
近代	明治22年～昭和29年	河内郡富屋村大字徳次郎
	昭和29年～	宇都宮市徳次郎町（とくじろうまち）

(2) 富屋地区内の意見

- ・ 広報とみや96号（5月発行）へ要望書を提出したことを掲載し、地区内へ配布するとともに富屋地市民センター図書コーナーへ配架
- ・ 事務局において、地区内の視察及び自治会役員等への地区内意見の聞き取りを実施した結果、反対の意見等はでていないことを確認

⇒ 富屋地区内において、町名（読み方）変更に係る周知が継続して実施されており、読み方を変更することに対する立て看板や反対運動は認められなかった。

(3) 市などへ寄せられた意見

- ・ 審議会公募委員募集の広報紙掲載や、審議会開催についてホームページへ周知掲載を行った。
- ・ 新聞報道（下野，朝日）により、審議会を開催することが市内外へ発信された。

⇒ 読み方変更に賛成する意見（手紙 1 件，新聞への寄稿 2 件）があったが，反対する意見（電話，手紙等）は，なし。

(4) 徳次郎町内における読み方表記の状況

ア とくじろう

- ・ 国道 1 1 9 号・2 9 3 号「徳次郎交差点」道路標識のローマ字表記 (Tokujiro)
- ・ 日光宇都宮有料道路「徳次郎インターチェンジ」のローマ字表記 (Tokujiro)
- ・ 日本郵政グループホームページの「徳次郎郵便局」「徳次郎町の郵便番号」のふりがな

イ とくじら

- ・ 関東バス停留所（上徳次郎，中徳次郎，下徳次郎）及び車内アナウンス
- ・ 徳次郎城，徳次郎石，徳次郎節，徳次郎保育園 など

⇒ 「とくじろう」のふりがな表記について，アの 3 点が認められた。

(5) 行政機関・事業者等への聴取

ア 栃木県市町村課

町名変更については，地方自治法第 2 6 0 条に基づき，市において議会付議等の所定の手続きを経た後，栃木県への通知を求める。

イ 宇都宮土木事務所

町名変更後は，国道 1 1 9 号・2 9 3 号「徳次郎交差点」道路標識のアルファベット表記を変更する必要がある。

ウ 栃木県道路公社（日光宇都宮道路）

- ・ 町名変更後は，「徳次郎インターチェンジ」のアルファベット表記を変更する必要がある。
- ・ 管理システムは，漢字のみで管理しており，システム修正は不要。

エ 銀行

- ・ 町名変更が決まった場合，その旨銀行あてに通知を求める。
- ・ 町名変更後は，お客様に各申請書の住所欄の町名ふりがなを，変更後で記入いただくよう案内する。

オ 宇都宮地方法務局（不動産登記部門）

読み方の変更のみの場合は，システム等の修正は不要。

カ 栃木県警察 宇都宮中央警察署

徳次郎町駐在所には，「ふりがな」を振っていない。

キ 宇都宮中央郵便局

郵便局のホームページについて，「町の郵便番号」と「徳次郎郵便局」の「ふりがな」を修正する必要がある。

⇒ 読み方が変更となった場合，アルファベットやふりがな表記を変更する等必要な対応をとるとのことであり，変更する旨の通知が必要とのことであった。

(6) 町名（読み方）変更等の事例

ア 宇都宮市の事例

宇都宮市において、過去に町名の読み方を変更した事例はない。

イ 他市の事例

○ 神奈川県 川崎市川崎区 境町（さかいちょう）

令和元年8月 地元住民の町名変更の要望により、「さかいまち」から「さかいちょう」へ変更。

○ 愛知県 名古屋市 黄金通（こがねどおり）1丁目～8丁目

平成29年6月 地元住民の町名変更の要望により、「おうごんどおり」から「こがねどおり」へ変更。

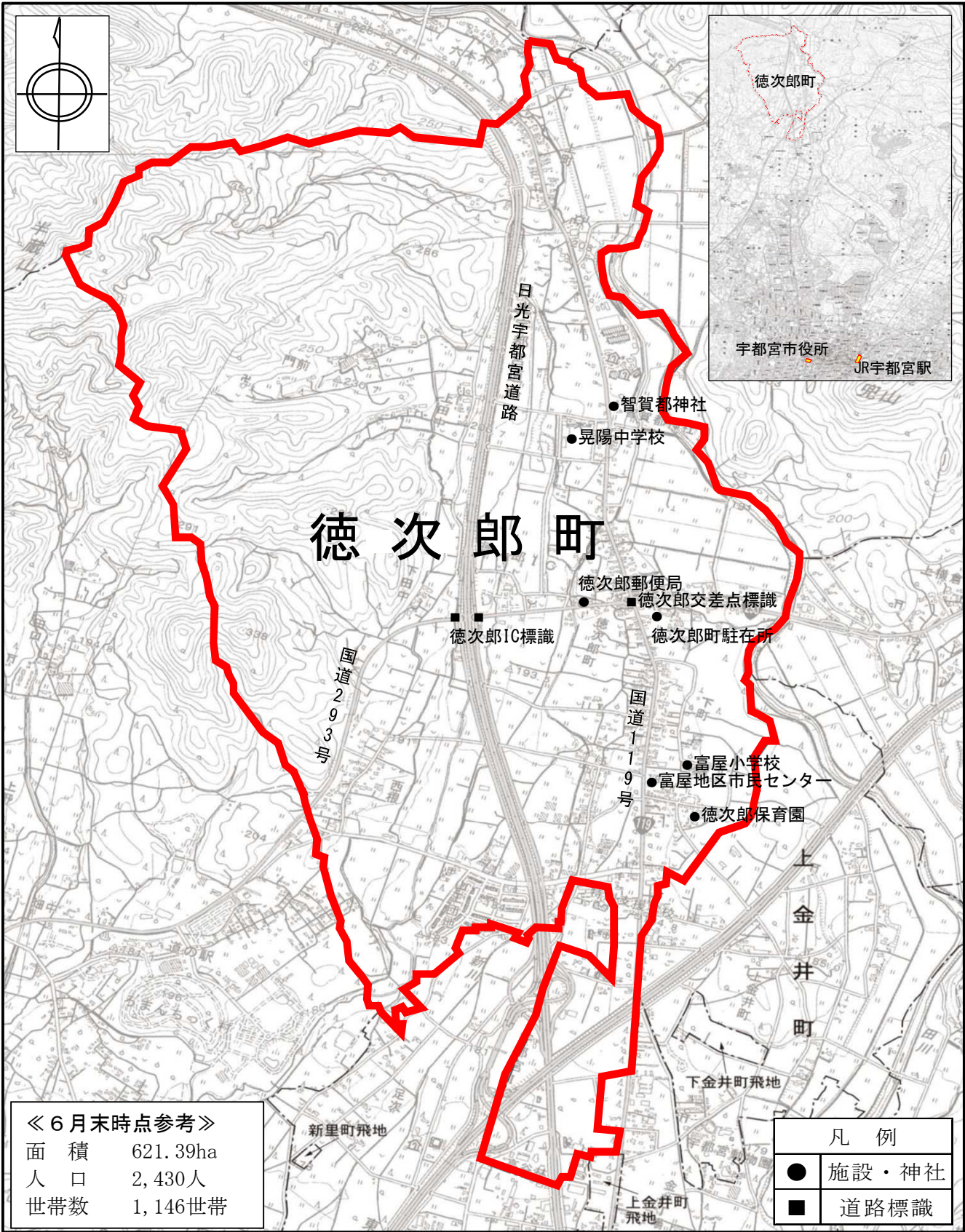
○ 愛知県 名古屋市 御器所（ごきそ）1丁目～4丁目

平成14年5月 地元町内会有志の町名変更の要望により、「ごきしょ」から「ごきそ」へ変更

⇒ 町名変更の手続きについては、**別紙4**の流れにより手続きが行われている。

《調査結果まとめ》

- ・ 「とくじら」という名称については、歴史・文化的な背景を有し、地元の方々に留まらず広く愛着が持たれ継承されている。
- ・ 「とくじらまち」へ読み方を変更した場合においては、行政機関や市民生活へ与える大きな影響はないが、関係機関へは変更の告示をしたことを個別に通知する必要がある。



昭和 29 年 宇都宮市と河内郡富屋村との合併までの経過

【栃木県市町村合併誌（栃木県）より抜粋】

昭和 28 年 10 月 1 日	町村合併促進法の施行 ※宇都宮市が隣接村を編入することは適用外
昭和 29 年 2 月 26 日	宇都宮市議員協議会において、町村合併調査委員会を組織
昭和 29 年 3 月 11 日～	富屋村合併促進対策協議会の設置 宇都宮市に編入することが適当であると富屋村の意見一致
昭和 29 年 7 月 19 日	富屋村定例村議会において、宇都宮市への編入が議決
昭和 29 年 9 月 14 日	宇都宮市議会第 7 回定例会継続会において、富屋村の廃止 編入等について議決
昭和 29 年 10 月 13 日	宇都宮市と富屋村の合併協議会開催、編入についての要望 を検討
昭和 29 年 10 月 23 日	宇都宮市告示 元富屋村大字徳次郎の名称を「徳次郎町」、 ふりがなを「とくじろうまち」と告示
昭和 29 年 10 月 31 日	富屋村廃止（富屋村中学校講堂において廃庁式挙行）
昭和 29 年 11 月 1 日	富屋村を宇都宮市に編入合併

第1号様式

令和2年4月21日

宇都宮市長様

富屋地区連合自治会長 館野常利

町名変更要望書

町名変更の手続きに関する事務取扱要領第3条の規定に基づき、次のとおり要望いたしますのでお取り計らい願います。

記

1 要望の趣旨

宇都宮市徳次郎町の読み方を「とくじろうまち」から「とくじらまち」に変更してほしい旨の要望が、富屋地区内の徳次郎町に関係する7自治会において、自治会の総意として取りまとめられたことから、富屋地区連合自治会としても、地区の総意として変更していただきたくお願い申し上げます。

2 要望の理由

「徳次郎町」は、昭和29年の宇都宮市と旧富屋村の合併の際に「とくじろうまち」とふりがなが付けられ、現在、公的には「とくじろうまち」という読み方になっておりますが、古くからこの地域は「とくじら」と呼ばれており、地元では「とくじら」という読み方に強い愛着を持っております。

この度、徳次郎町に関係する7自治会より、地域住民が古くから長く親しんできた「とくじらまち」を正式な読み方にしてほしい旨の要望がとりまとめられましたので、富屋地区連合自治会としても地区の総意として変更していただきたく切にお願い申し上げます。

3 添付書類

連合自治会総会の議事録の写し等



町名変更の手続きフロー

町名変更の要望

趣旨及び理由等を記載した町名変更要望書（第1号様式）に町名変更に係る決議についての自治会の総会等の議事録等の写し及び周知のため掲示・回覧したチラシ等を市へ提出

⇒ 令和2年4月21日 提出

調査

必要に応じて、当該区域への視察並びに自治会の役員等への聞き取りを行い、町名変更に対する立て看板、署名活動及び抗議電話等の顕著な反対運動が認められないことを確認

⇒ 令和2年6月18日、7月17日 実施

住居表示等審議会の開催

申請者から要望があった町名変更に関して、住居表示等審議会を開催し、審議会の委員から意見を聴取

⇒ 令和2年7月30日 審議会開催

議会へ議案提出

町名変更について、議案として議会へ提出

町名変更に関する告示

議案の可決後、速やかに町名変更を告示し、併せて広報紙等で広報

町名変更の施行

告示の約1ヶ月後、町名変更を実施

※町名変更は、住居表示実施の手続きと同様となります。

徳次郎の名称（由来・読み方等）に係る参考資料

※二重線部 合併時期

	西暦	年号	内 容	資 料
1	778年	宝亀9年	久次良一族が、千勝の森に日光山神社から勧請して御神体を遷座	日光道中略記 栃木県大百科事典 角川日本地名大辞典
2	1363年	貞治3年	日光の禪定礼に「得志良近津宮伴四郎大夫家守」と記載	角川日本地名大辞典
3	1585年	天正13年	徳次郎城主 新田徳次郎	栃木史論「久次良考ー日光山縁起に関する試論的考察」千田孝信
4	1622年	元和8年	佐竹義宣が日光参詣の途次、「とくしらにて御ひる休有」と記載	栃木の地名
5	1667年	寛文7年	篠井神廟の銅製扉に「久次良村石社搭一」「宇都宮外久次良大明神」と刻まれている。	
6	1836年	天保7年	トクジラ トクジラ トクジラウ 外久次良、外久自良、徳次良と記載	日光山志
7	1843年	天保14年	第12代将軍徳川家慶の日光社参の工程を示した道中図に、「徳二良」と記載	日光道中絵図
8	1895年発行	明治28年	日光東街道 富屋村 徳二良、徳次良	宇都宮地誌略及び雑記（平賀慶壽）
9	1907年発行	明治40年	下野河内郡 徳次良（トクジラ）、 徳次良宿（トクジラ）と記載	大日本地名辞書下巻二版（吉田東伍）
10	1910年発行	明治43年頃	新里郷ノ以前ハヤハリ「トクジラ」ト称セシ	河内郡富屋村郷土誌
11	1934年発行	昭和9年	日光に徳次郎あり、此の徳次郎は外久次郎なるべしといふ。	市町村別 日本国勢総覧2 関東編 （日本図書センター）
12	1955年発行	昭和30年	町村合併に伴う栃木県内町村の沿革	栃木県市町村誌（栃木県町村会）
13	1956年発行	昭和31年	合併市町村の沿革、当時の状況、合併までの経緯等	栃木県町村合併誌 第3巻上 （栃木県）
14	1959年発行	昭和34年	宇都宮区域の町名およびその起源、神社、古人略伝等	宇都宮市六十周年誌 （宇都宮市役所）
15	1962年発行	昭和37年	徳次郎 地名のおこり 等	富屋村史（福田 操）
16	1980年発行	昭和55年	地名：とくじら徳次郎	栃木県の地名の故事来歴 （稲川彰一）
17	1981年発行	昭和56年	・第4章 第6節 戦後の復興期 ・旧町村略史 9富屋村	宇都宮市史（宇都宮市）
18	1988年発行	昭和63年	徳次郎村（とくじらむら） 現：宇都宮市徳次郎町（とくじろうまち）	栃木県の地名 日本歴史地名大系9（平凡社）
19	1997年発行	平成9年	「徳次郎」の地名の起こり 等	目で見る富屋の歴史 （富屋史研究会）
20	1997年発行	平成9年	市制100周年地域イベントテーマ「明日に伝えたい とみやの自然と歴史」に沿う事業として発刊した、住民参加による郷土史	明日に伝えたい富屋の郷土誌 （宇都宮市立富屋公民館）
21	2003年発行	平成15年	徳次郎（とくじろう、とくじら）	日本交通史辞典（丸山雍成ほか）
22	2014年発行	平成26年	徳次郎（とくじら）	うつのみやの地名と歴史散歩 （塙静夫）
23			徳次郎節（富屋地方民謡） 歌詞 「とくじらよいとこだよ」	